ピロスマニ（1969）

PIROSMANI

メディア　映画
ジャンル　ドラマ　伝記　アート
製作国　グルジア
色彩　Color
時間　87分
初公開日　1978/09/15
公開情報　日本海＝エキプ・ド・シネマ
リバイバル　2015/11/21［パイオニア映画シネマデスク］

【解説】

革命の胎動が微かに響くグルジア。孤高の天才画家ニコ・ピロスマニは片田舎に住み、居酒屋や食堂の壁にかける絵を製作し細々と暮らしていた。ある日、その地に赴いた画家によりロシア中央画壇に紹介された彼はモスクワへ向かうが、権威主義的な美術界の冷遇を受け、失意のまま帰郷。傷心を抱えつつ自分や同胞のためのみに絵筆をとる生活を続け、ひっそりと世を去る。ルソーにも匹敵するナイーブ派画家として今でこそ評価の高いピロスマニの、簡素にして清廉な生き方をつとめてクールなタッチで捉えたグルジア映画らしい素直な好篇。作品を通じ、彼の独特の画業を振り返ることができるのが嬉しい。

【クレジット】

監督　ギオルギ・シェンゲラヤ　Giorgi Shengelaia
脚本　エルロム・アフヴレジアニ　Erlom Akhvlediani
　　ギオルギ・シェンゲラヤ　Giorgi Shengelaia
撮影　コンスタンチン・アプリャチン
音楽　Ｖ・クヒアニーゼ
出演　アフタンジル・ワラジ
　　アッラ・ミンチン
　　ニノ・セトゥリーゼ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.